



特徴

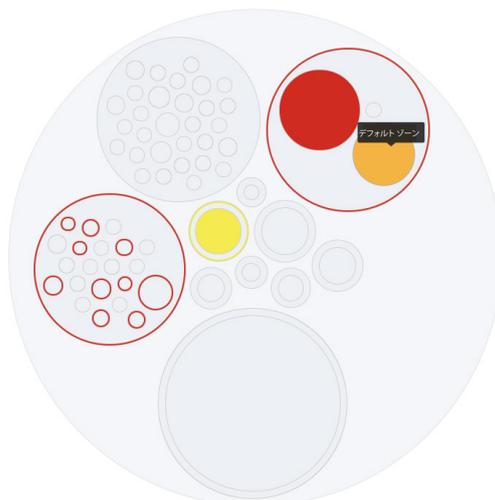
- ネットワーク稼働状況を包括的に可視化
- ネットワークとクライアントのトラブルシューティングにかかる時間を短縮
- サービスの問題を特定し、優先順位を付け、解決の手順を推奨
- ユーザー体験の向上において IT チームをサポート
- キャパシティ プランニングを支援

接続性に対するユーザーの要求が増え続け、ネットワークが複雑化し続ける環境で、必要なネットワーク サービス レベルを確保するためのツールを IT チームが持っていないことは珍しくありません。ユーザーの接続性の問題に起因してヘルプデスクのチケットが山積みになる一方で、IT 部門はネットワーク データから思うように分析情報を得られていません。サービスの問題がユーザー体験に影響を与えていても、根本原因を特定し、問題を解決するための行動方針を明確にする手段を IT 部門が持たないことはよくあります。

CommScope の RUCKUS Analytics はネットワーク インテリジェンスとサービス アシュアランスを提供するクラウド サービスです。IT 部門は機械学習と人工知能を活用することでネットワークの稼働状況を包括的に可視化できます。また、トラブルシューティングにかかる時間を短縮し、IT 部門がネットワーク SLA を遵守するために役立ちます。

このサービスでは、サービス アシュアランス に影響を及ぼすインシデントを特定し、それを重大度によって分類し、根本原因を追跡し、問題解消のための具体的な推奨事項を提示します。また、設定可能なしきい値に対して、ネットワークの健全性を自動的に監視します。IT チームは、高度なクライアント トラブルシューティングとインシデント分析を活用して、個々のユーザーやデバイスのサービスの問題に対処できます。また、このサービスでは、強力なレポートと情報満載のダッシュボードを利用できます。Data Explorer ツールを使用すれば、カスタムのダッシュボードを作成したりデータ可視化を行えます。また、ドラッグアンドドロップでネットワーク データウェアハウスを簡単かつ柔軟に探索できます。

RUCKUS Analytics では、生データを集約し、ネットワーク運用に活用できる有益な分析情報に自動的に変換します。機械学習と人工知能を活用したこの分析サービスにより、サービス アシュアランスに関連するさまざまな手作業から解放されます。包括的なネットワーク インテリジェンスにより、ユーザー、デバイス、アプリケーションをサポートし、ネットワーク SLA 遵守を支援します。



メイン ダッシュボードからの詳細情報は、サークル パッキング チャートに表示されます。ネットワーク階層をグラフィカルに表示し、ネットワーク インシデントが発生した場所を色分けして示しています。チャートの中をクリックすることで、簡単に拡大して詳細を確認できます。

お客様の施設



RUCKUS Analytics



セキュアな双方向
テレメトリーと制御

非常に大規模な導入をサポートするスケーラビリティを備えており、要件を満たすように容量が透過的に拡張されます。RUCKUS Analytics は、SmartZone™ を使用するオンプレミスおよびプライベート クラウド/データ センター型の導入、RUCKUS Cloud を使用するクラウド管理型の導入という、2 種類の制御および管理アーキテクチャに対応しています。

RUCKUS Analytics には、業界独自の次のような機能が揃っています。

- 機械学習と人工知能を活用して自動化されたデータ ベースライニングと分析情報
- 健全性と SLA の監視
- 強力かつ全体的なトラブルシューティング
- インシデント重大度の自動分類
- オンサイトのデータ収集ツールやオーバーレイ センサーが不要
- 深掘りとカスタム ダッシュボードによる生データへの詳細なアクセス
- 12 か月間のデータ保存期間と柔軟なデータレポートング

最新のデータ スタックを使用したストリーミング テレメトリーによる高度な分析

RUCKUS Analytics は、ネットワーク デバイスで生成される独自のデータ プロファイルに対応しています。オンプレミスのコントローラーはクラウドにセキュアに接続し、軽量な健全性 KPI とテレメトリーをストリーミングします。高性能データ スタックは、クエリ、レポート、ベースライン メトリクスの基盤となるデータを取り込んで処理します。

ネットワーク健全性の監視

このサービスでは、ネットワークの健全性が自動的に監視され、概要タブに高レベルのサマリーが表示されます。他の健全性監

視タブを選択すると、特定の健全性カテゴリ (接続、パフォーマンス、インフラストラクチャ) のメトリクスを表示できます。ネットワーク健全性タブでは、AP サービスのアップタイム、接続までの時間、接続成功率、クライアントのスループットなどのメトリクスを瞬時に可視化できます。測定したいサービス レベルを定義できます。たとえば、「接続までの時間」の目標を 5 秒に設定した場合、ネットワークがその目標を達成した時間の割合がパーセントで表示されます。このサービスを利用することで、組織内の他の人に SLA に対するパフォーマンスを簡単に示すことができます。

機械学習と人工知能によるインシデント分析

RUCKUS Analytics により、RUCKUS 製品を導入頂いている環境において機械支援型のプロアクティブなネットワークングが可能になります。各ネットワーク要素の正常な動作範囲は自動的に学習、設定されます。IT スタッフが入力する必要はありません。次に、機械学習を使用することで、ユーザー体験に影響を与える接続性、パフォーマンス、インフラストラクチャに関連するサービス インシデントが自動的に特定されます。人工知能を使用することで、サービス インシデントが重大度別に分類されるため、優先度の高い問題に最初に対処できます。

各インシデントについて以下のような情報が提供されます。

- 根本原因と推奨される対応
- 影響のあるエリア (クライアント オペレーティング システムのタイプ、アクセス ポイントのモデル、ファームウェアのバージョン、WLAN など)
- 影響に関するその他の情報 (重大度、クライアントの影響、継続時間など)
- 影響のあるクライアントのリスト
- インシデントの原因となる裏付けデータの表示

* SmartZone 5.1.2 以上が必要です。

RUCKUS Analytics により、サービス インシデントの解消にかかる平均時間を大幅に短縮できます。ユーザーに影響を与える前に問題に対処することで、一部のヘルプデスク チケットを排除できます。1 つのインシデントの根本原因に対処することで、それに付随して発生する可能性のある他のインシデントを未然に回避できます。レベル 1 および 2 のヘルプデスク担当者が RUCKUS Analytics を使用して複雑なネットワークの問題を解消することにより、サービス プロバイダーはビジネス価値を即時に実現できます。

強力なクライアントトラブルシューティング

RUCKUS Analytics には、シンプルで柔軟な検索と総合的なクライアントトラブルシューティング ページが用意されているため、クライアント体験の全体像を把握し、以下のような接続性とユーザー体験の診断を容易に行えます。

- 接続の成功、遅延、失敗
- 切断イベント
- ローミング イベントとローミングの失敗
- 接続の品質 (RSSI、MCS、クライアント スループット)
- ユーザーに影響を与えるネットワーク インシデントと詳細を表示できるリンク

クライアントトラブルシューティングは、ネットワーク上の特定のクライアントに影響を与えている問題を把握し、対処するために役立つ強力なツールです。

組み込みのレポートとダッシュボード

標準化された多種多様なレポートにより、ネットワーク パフォーマンス、トラフィック パターン、アプリケーションの使用状況などを可視化できます。サマリー ビューで高レベルの情報を表示した上で、個々のネットワーク コンポーネントやデバイスのレベルまで掘り下げることができます。標準化されたレポートには以下のものがあります。

- **ネットワーク** — トラフィックとクライアントのトレンド、上位のデバイス、上位の SSID、トラフィックの分布など
- **クライアント** — OS およびデバイス製造元別のレポート、使用量が上位のクライアント、クライアントトレンド、セッションの詳細など。色分けされたクライアント健全性レポートには、複数の KPI に基づいて、クライアント接続の健全性トレンドがわかりやすく表示されます。
- **在庫** — AP、スイッチ、コントローラーの数、モデル、ファームウェア、ステータスなど

- **アプリケーション** — 上位のアプリケーションとその使用状況のトレンド、上位のアプリケーション グループと使用状況、上位のポートなど
- **デバイス特有のレポート** — クライアント、AP、スイッチの完全な可視性と使用状況のレポート

本サービスでは、レポートを生データ、PDF ファイル、CSV ファイル形式でダウンロードできます。結果は、組織の内部または外部のステークホルダーに転送できます。

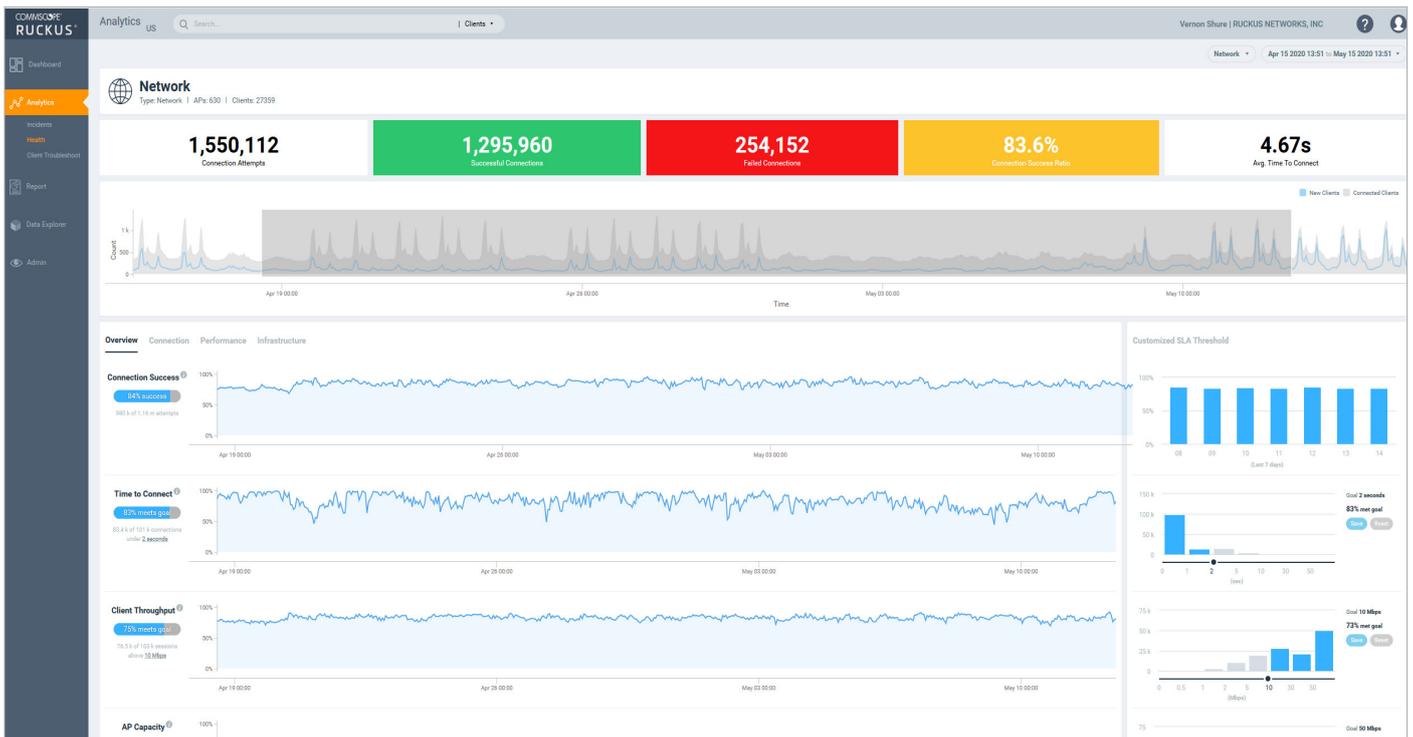
Data Explorer — カスタム ダッシュボード、データ可視化など

RUCKUS Analytics Data Explorer ツールで、カスタム ダッシュボードを作成し、ネットワーク エコシステムのデータを分解・分析できます。ドラッグアンドドロップによるダッシュボード作成で、必要に合わせてビューをカスタム デザインできます。ダッシュボードのタイトルを簡単に配置および配置変更し、タイトルを自由に編集し、異なるビュー間で切り替えることができます。

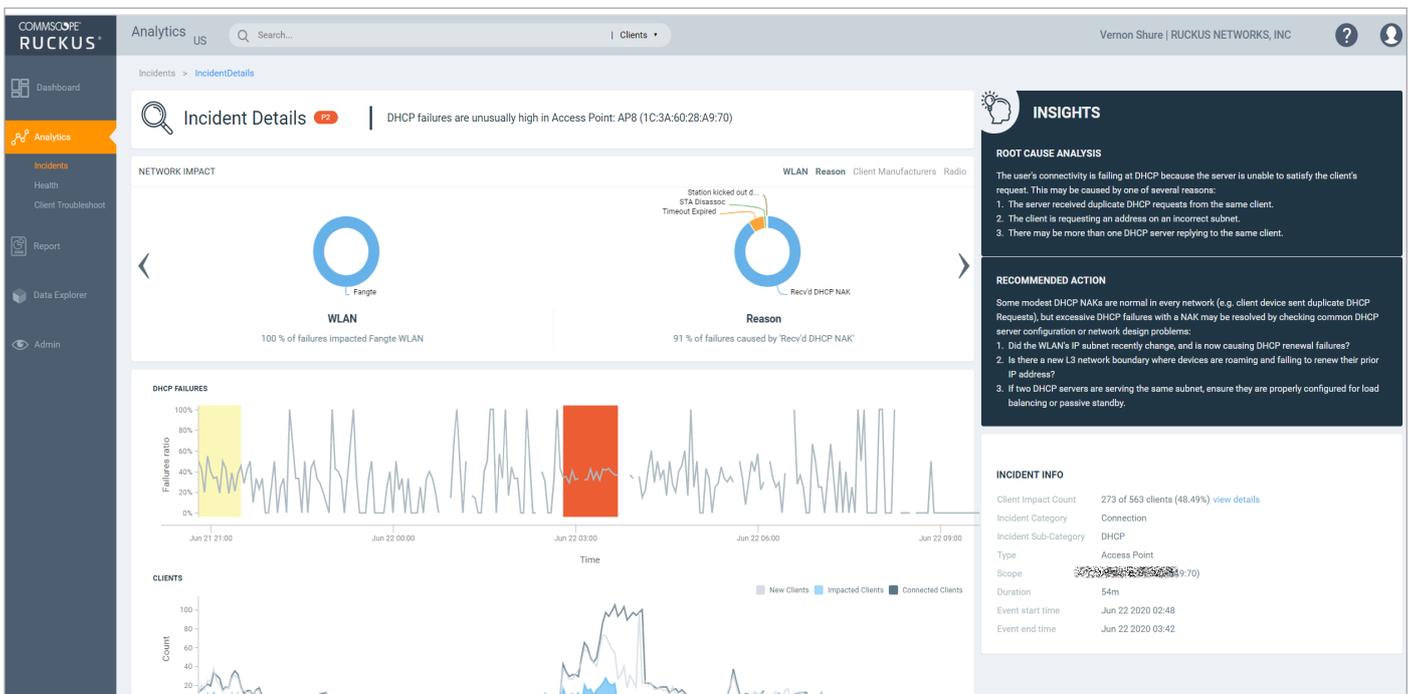
時間、デバイス タイプ、トラフィック タイプ、アプリケーション、AP グループ、コントローラー、アクセス ポイント、バンド、SSID などを含む何十もの切り口でデータを分析し、フィルタリングできます。ピボット テーブル、折れ線グラフ、棒グラフ、サンバースト、サンキー ダイアグラム、積み重ね棒グラフ、ヒート マップなど、複数の可視化手法を使用してデータを表示できます。Data Explorer を使用すると、ネットワーク データ ウェアハウス全体を簡単に操作し、ネットワークに関するあらゆる問いに答えることができます。

クラウド導入による拡張性と拡大性

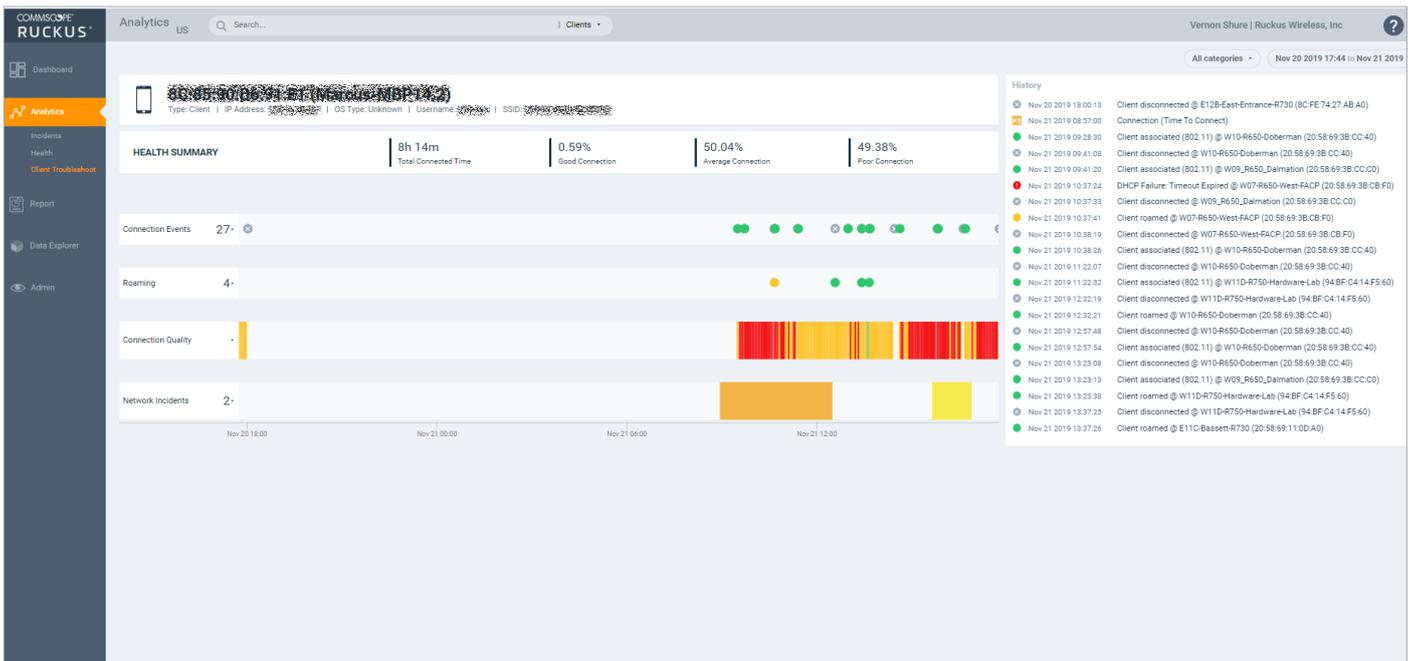
ホスト型サービスである RUCKUS Analytics を使用すれば、社内でネットワーク分析プラットフォームを管理する場合に生じる負担を軽減できます。クラウド上にデータを保存するため、容量は実質的に無限であり、ネットワーク環境のデータ量増加に応じて即時に拡張されます。容量不足を心配したり、ディスク利用率の予測やリソース追加時期の見極めなどを行う必要はありません。RUCKUS Analytics が、コンテナとマイクロサービス オークストレーションを使って、透過的にそれを行います。このソフトウェアは、オンサイトのデータ収集ツールを必要としません。クラウド導入により、RUCKUS Analytics に組み込まれた機械学習アルゴリズムから最大限の分析情報を獲得できるようになります。



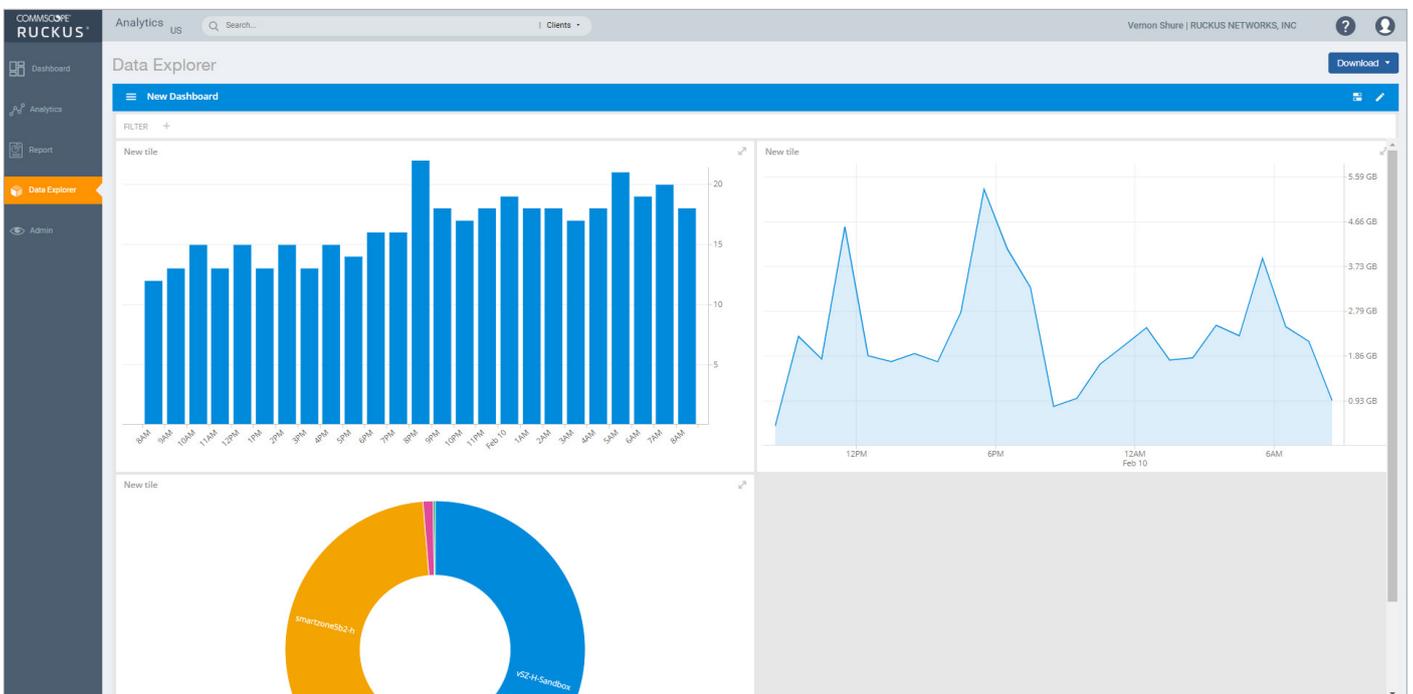
健全性の監視 | RUCKUS Analytics では、接続、パフォーマンス、インフラストラクチャの3つの分野でさまざまなネットワーク健全性を自動的に監視します。



インシデント アナリティクス | RUCKUS Analytics では、各サービス インシデントの根本原因分析を行い、問題を解消するための具体的な提案を行います。



高度なクライアントトラブルシューティング | ネットワーク上の特定のクライアントに影響を与えた問題を調査して解決できます。



Data Explorer | RUCKUS Analytics の Data Explorer ツールを使用すれば、ドラッグアンドドロップでダッシュボードを簡単にカスタマイズできます。

仕様

セキュリティ、プライバシー、データの保護	<ul style="list-style-type: none"> クラウドへのトラフィッククラウドからのトラフィックをすべて暗号化 AP、スイッチ、およびクライアントの管理トラフィックのみをクラウドに送信 クライアント データ トラフィックはローカルにとどまり、既存のファイアウォール経由でローカル LAN に送信 RUCKUS Cloud に保管されているデータは暗号化 ラッカスは、ヨーロッパの顧客向けには、EU にあるデータセンターを提供 最新のセキュリティ パッチは自動的に更新 管理者権限用にロールベースアクセス制御を提供 	<p>管理者はパートナーおよびラッカス サポートに対してアクセスの許可・不許可を設定可能</p> <p>RUCKUS Cloud プライバシー ポリシーを参照してください</p>
クラウド データセンター	<ul style="list-style-type: none"> 以下の条件を満たすワールドクラスの米国、ヨーロッパ、アジアの IAAS プロバイダーがホスト: <ul style="list-style-type: none"> ISO 27001 情報セキュリティ認定 SSAE-16、SOC 1、SOC 2、SOC 3 の各認定 物理的、データ アクセス、データ破棄の厳しいセキュリティ対策 テナントごとの移行機能 自然にやさしいカーボンニュートラル施設 専用の社内 DC ファイバー接続 	<p>サービス対象のホスト地域を選択できる機能 (米国、欧州連合、またはアジア)</p>
SLA	<ul style="list-style-type: none"> 99.9% のネットワーク可用性。定期的なソフトウェア アップグレードとその他事前に告知された作業などの計画メンテナンスを含まず 	
サポート	<ul style="list-style-type: none"> 購読期間中 24 時間 365 日チャット/ウェブ/電話サポートを含む 	
部品番号	<ul style="list-style-type: none"> CLD-ANAP-1001 <ul style="list-style-type: none"> クラウドまたは SmartZone 管理型の AP 1 台について RUCKUS Analytics 1 年間の購読 CLD-ANAP-3001 <ul style="list-style-type: none"> クラウドまたは SmartZone 管理型の AP 1 台について RUCKUS Analytics 3 年間の購読 CLD-ANAP-5001 <ul style="list-style-type: none"> クラウドまたは SmartZone 管理型の AP 1 台について RUCKUS Analytics 5 年間の購読 CLR-ANAP-1001 <ul style="list-style-type: none"> クラウドまたは SmartZone 管理型の AP 1 台について RUCKUS Analytics 1 年間の更新 CLR-ANAP-3001 <ul style="list-style-type: none"> クラウドまたは SmartZone 管理型の AP 1 台について RUCKUS Analytics 3 年間の更新 CLR-ANAP-5001 <ul style="list-style-type: none"> クラウドまたは SmartZone 管理型の AP 1 台について RUCKUS Analytics 5 年間の購読 	



commscope.com

さらに詳しい情報については、弊社のWeb サイトをご覧ください。または、地域の CommScope 担当者にお問い合わせください。

© 2020, CommScope, Inc. All rights reserved.

特に明記しない限り、® または ™ によって識別されたすべての商標は、それぞれ CommScope, Inc. の登録商標です。この文書は計画のみを目的とし、CommScope 製品またはサービスに関連する仕様または保証を変更または補足するものではありません。CommScope は、ISO 9001、TL 9000、ISO 14001 を含む国際規格に準拠した認定を受け、世界中の CommScope の多くの施設で、ビジネスの完全性と環境の持続可能性の最高基準に取り組んでいます。

CommScope のコミットメントの詳細については、www.commscope.com/About-Us/Corporate-Responsibility-and-Sustainability から読みいただけます。

PA-1142031-JA (07/20)